

アジアからの高大接続

— 国際アドミッションにおける日本式教育と予備教育 —

令和3年3月15日(月) 14:00~18:00

開催方法 ZOOM Webinarによる開催

使用言語 / 日本語
一部英語(通訳なし)

プログラム

14:00-14:05 開会の挨拶 河野 俊行(九州大学 理事・副学長)

司会▶ 江口 潔(九州大学人間環境学研究院 准教授)

第1部 国際アドミッションの課題と現状

14:05-14:45 講演

「一流研究大学の留学生獲得戦略としての国際アドミッション — アジアからの高大接続における日本式教育、予備教育(ファンデーションプログラム)の観点から」

竹熊 尚夫(九州大学人間環境学研究院 教授・教育学部長)

木村 拓也(九州大学人間環境学研究院 准教授)

中世古貴彦(九州産業大学基礎教育センター 講師)

14:45-14:55 休憩

第2部 アジアからの高大接続事例の紹介

14:55-15:10 新モンゴル学園(小中高・高専・工科大) [モンゴル]

ジャンチブ・ガルバドラッハ 理事長

ガレバドラッハ・トゴス 専務理事

15:10-15:25 信男教育学園 [中国]

(上海文来高級中学校中日班、深セン第三高級中学校日本名校留学班)

魯 林 理事長

15:25-15:40 柳川高等学校附属タイ中学校、柳川高校国際科 [タイ]
古賀 賢 柳商学園 理事長

テムラック・チャオ 柳川高等学校附属タイ中学校 副理事長

15:40-15:55 日本国際学校 [ベトナム] ※英語による講演

ダオ・スアン・ホック 理事長

15:55-16:10 マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース [マレーシア]

水野 俊夫 日本人教師団 団長

ジャミラ・モハマド AAJプログラムコーディネーター

16:10-16:25 帝京マレーシア日本語学院日本留学準備教育課程 [マレーシア]

大野 好弘 帝京マレーシア株式会社 取締役社長

16:25-16:35 休憩

第3部 九州大学における国際アドミッションの現状と課題

16:35-16:50 工学部 松村 晶(九州大学工学研究院 教授)

16:50-17:05 農学部 土居 克実(九州大学農学研究院 教授)

17:05-17:20 共創学部 李 暁 燕(九州大学共創学部 准教授)

17:20-17:35 経済学部 儲 梅 芬(九州大学経済研究院 講師)

17:35-17:50 教育学部 木村 拓也(九州大学人間環境学研究院 准教授)

17:50-18:00 閉会の挨拶 渡邊公一郎(九州大学工学研究院 教授)



九州大学webinar100 国際シンポジウム

アジアからの高大接続

— 国際アドミッションにおける日本式教育と予備教育 —

海外との高大接続を設計していくとは如何なることなのか、こうした問いに、教育学は如何に回答していくべきなのか、本シンポジウムの開催目的はまさにここにある。アジア各地から日本の大学に進学するルートは、一様ではない。高等学校を卒業後に来日するケースばかりでなく、高等学校を卒業し予備教育(ファンデーション・プログラム)を受けるケース、中学を卒業後に日本に留学し日本の大学を目指すケース、国内外の高等専門学校を経由するケース、日本の高校に長期留学した上で日本の大学に進学するケースなど、アジアからの高大接続はモザイク状である。そのそれぞれに現状と課題があり、また、そうした多様な進学ルートを熟知した上で、日本の大学がどう接続制度を構築していくのか、も課題となる。第一部では、アジアからの高大接続に関する論点整理を行い、第二部では、アジアの日本式教育を行う各教育機関から現状と課題を指摘頂く。第三部では、九州大学の各部局から国際アドミッションの課題をご指摘頂く。シンポジウム全体を通して、アジアの高大接続場面で見られる諸課題を概観し、これからの我が国における国際アドミッションのあり方を議論する。

※九州大学教育学部では、平成31年度より、日本人と留学生が共修する国際コースを開設し、私費留学生入試と帰国子女入試を統合して、新たに国際入試を開始した。その経緯と狙いについても解説を行う。

申し込み締め切り

3/8(月)

対象

国際アドミッションに
関心のある
大学教職員
高校教職員

定員

200名

【申込方法】

以下の URL 又は QR コードから必要事項を記入の上、お申込みください。

お申込みいただいた方には後日メールにて、Zoom リンクをお送りします。

<https://forms.gle/2PGkLsBiePwVzpFx6>



【問い合わせ先】

九州大学教育学部教育計画・測定評価論研究室
symposium@pme.kyushu-u.ac.jp

本シンポジウムは、令和2年度九州大学ウェビナー100「アジアの日本式教育からの高大接続—国際アドミッションの新潮流」(申請代表者:木村拓也)、平成31年～令和3年度九州大学教育の質向上支援プログラム(NEEP)「アジア研究拠点の展開に資するアジア各国における留学生獲得拠点の形成」(取組代表者:木村拓也)、及び、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)「日本式教育の海外往還による多文化革新カリキュラムの構築に関する国際比較研究」(研究代表者:竹熊尚夫)(20H1644)、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)「大学進学地域移動の計測手法の開発とその適用」(研究代表者:木村拓也)(19K02564)の成果の一部である。